



## <患者様用>

# MRI造影検査に関する説明書

### ● 造影検査について

造影検査は、造影剤という薬剤を静脈注射やカテーテルを用いて血管内に注入し、腫瘍や炎症、血管性病変などの診断能を向上させます。造影剤を使用しないと正確に診断ができず、適切な治療を受けられない場合があります。

注入した造影剤は、健康的な方で半日～1日程度でほぼ全量が腎臓から尿中に排泄されます。

### ● 造影剤の副作用・合併症について

\*参考文献：日本医学放射線学会 医療事故防止委員会

造影剤は、多くの場合人体に無害な薬です。しかし、他の薬と同様にアレルギー体質の方や持病などによっては副作用が出現することがあります。

#### 【副作用】

軽症 (5%以下)	治療を要さない または 1～2回の投薬で回復するもの 症状：吐き気、動悸、頭痛、かゆみ、くしゃみ、発疹、注射部位の痛み など
重症	治療を要する 後遺症が残る可能性があるもの 2.5万人に1人程度、(40万人に1人程度で死亡例も報告されています) 症状：呼吸困難、嘔声、意識障害、血圧低下、腎不全 など
遅発性 副作用	副作用は、造影剤注入直後～検査後10分以内がほとんどですが、稀に1時間から数日で発現することがあります。 症状：発疹、かゆみ、浮腫、嘔吐、のどの違和感、注射部の痛み など
腎性全身性 線維症 (NSF)	※重篤な腎障害のある方に可能性があります※ 発生頻度：不明(非常に少ない) 造影剤使用後数日～数ヶ月、時に数年後に皮膚の腫脹や硬化、疼痛などが発生することがあります。腎障害患者様あるいは透析患者様での発生確率は概ね5%以下と推定され、進行すると四肢関節の拘縮を生じたり、死亡例も報告されています。

#### 【合併症】

##### ・造影剤血管外漏出

稀に血管外に造影剤が漏れて、腫れ・痛みを伴う場合があります。漏れた量が非常に多い場合には、別の処置が必要となることもあります。

### ● 造影検査後 緊急時の対応・問い合わせについて

病院外で副作用・合併症を疑う症状が出た場合は、下記代表番号へご相談ください。

**松阪市民病院**

**代表番号 0598-23-1515 (17:00～8:30は時間外受付につながります)**